

令和8年度 住吉区総合防災訓練

令和8年11月14日(土)



1 概要

○目的

区災害対策本部の初期初動体制の実効性について検証を行い、行政としての災害対応能力の強化を図るとともに、災害時の避難所について、各地域が迅速かつ円滑な避難所の開設・運営が行えるように、地域の総合的な防災力の向上をめざす。

また、女性をはじめとする多様なニーズを反映した避難所運営にむけて取り組むとともに、要援護者への支援の取組として福祉避難所との連携訓練を実施していく。

○日時

令和8年11月14日(土) 9時～12時

○場所

災害時避難所、町会一時避難場所、住吉区役所 他

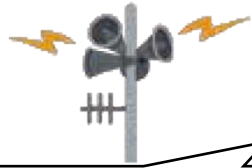
○訓練想定

南海トラフ巨大地震の発生を想定し、あわせて同時期に大和川の氾濫などの水害が発生しうる場合を想定した訓練を実施する。

○参加者

区内全12地域活動協議会、区役所(避難受入班、保健福祉班)、直近参集者、各関係機関等

2 令和8年度 住吉区総合防災訓練



9:00頃
防災スピーカーから
サイレンが鳴ります！

地震発生！⇒9:00 訓練開始！
(町会一時避難場所、災害時避難所に集合)

町会災害対策本部の設置訓練
(町会長、町会役員等)

**一般の方も
参加します**

1. 一時避難場所に町会本部を設置

2. 無線通信訓練(地域本部と通信)

3. 安否確認訓練

4. 災害時避難所への避難訓練

5. 水害発生時の避難訓練(10時以降)

集まった参加者へ
訓練の内容と避難場所等について説明

【その他】

- ・救助資器材の点検、使用訓練
- ・ケガ人や要援護者の搬送訓練(車イス等)
- ・応急手当訓練
- ・初期消火訓練(消火器の確認等) など

重点項目例

- ✓ 一時避難場所から災害時避難所への避難訓練
- ✓ 地域災害対策本部／避難所運営委員会の設置・運営訓練
- ✓ 女性をはじめとする多様なニーズを反映した避難所運営訓練
- ✓ 福祉避難所との連携訓練
- ✓ 水害を想定した避難訓練

※令和8年度の防災訓練は、各地域の実情や課題を踏まえた重点項目を1つ以上定めていただき、その内容に沿った訓練を実施していただく

3 災害時避難所の開設・運営

地域災害対策本部の設置訓練

地活協役員及び
防災リーダー等

避難所運営委員会の設置訓練

1. 情報収集・伝達訓練

- 町会本部とのデジタル無線通信訓練
 - ・ 安否確認、被害状況の把握
 - ・ 救護要請など

- 避難所とのデジタル無線通信訓練
 - ・ 建屋被害状況、避難者数の確認
 - ・ 物資、救援要請など

- 区本部とのLINE通信訓練
 - ・ 地域被害状況、避難者状況の報告
 - ・ 救出救護、物資要請など

- 状況付与への対応訓練

2. 水害発生を想定

- 水害発生を想定し、浸水想定地域においては、2階以上に避難等を実施
- 浸水想定地域外においては、浸水地域からの避難者が増えることを想定した訓練を実施

1. 情報収集・伝達訓練(総務・情報班)

- 地域本部とのデジタル無線通信訓練(避難者数の確認、物資、救援要請など)

2. 受付、避難所配置訓練(管理班)

- 受付設置と避難者数の集計
- 部屋のしつらえ、看板等の設置・表示
- 避難者の部屋への誘導(避難所見学対応)
- 簡易トイレの設置
- 避難所レイアウト(養生テープ等で区分け)

3. 熱咳等症状者やけが人の対応(救護班)

- 救護室、福祉避難室の設置
- 療養スペース等の設置
- 福祉避難所への搬送訓練

4. 備蓄物資の確認(食糧・物資班)

- 備蓄物資の点検

5. 水害発生を想定

- 水害発生を想定し、浸水想定地域においては、2階以上に避難等を実施
- 浸水想定地域外においては、浸水地域からの避難者が増えることを想定した訓練を実施

4 区災害対策本部の設置・運営訓練

区災害対策本部の設置・運営訓練

1. 本部設置・情報収集・伝達訓練(庶務班)

- 区災害対策本部の設置(4階大会議室)
- 地域本部とのデジタル簡易無線、LINEを活用した通信訓練
- 防災情報システム通信訓練
- ボランティアセンターとの無線通信訓練
- 広報訓練(X:旧Twitter)

2. 災害時避難所での受入れ(避難受入班)

- 地域と連携した避難所開設訓練
- 水害発生を想定し、浸水想定地域においては、2階以上に避難等を実施
- 浸水想定地域外においては、浸水地域からの避難者が増えることを想定した訓練を実施

3. 被災者の医療救護、 区医師会等との連絡調整(保健福祉班)

- iisumiによる情報収集
- 福祉避難所とのデジタル無線通信訓練
- EMISへの登録訓練